

# 作業療法学専攻 (仮称)

Occupational Therapy Course

## 〈こころ〉と〈からだ〉と〈生活〉のリハビリをサポート

作業療法は、子どもからお年寄りまで、〈こころ〉と〈からだ〉と〈生活〉の障がいを持つ人々にかかわります。

対象は、病気や事故で身体に障がいを持った人、心に障がいのある人、老化や病気で生活に支障が生じた高齢者、運動・知的・行動面での発達に遅れがある子どもです。作業療法では、「作業」とよんでいる日常生活の中に登場する食事をする、着替える、顔を洗う、髪をとく、トイレに行く、歩く、遊ぶ、仕事をする、勉強するなどすべての行動を使って、自分らしく生きていけるように生活能力の向上を図るためのサポートをします。

作業療法士の活躍の場は、全国の病院・介護施設・養護施設など、高度なリハビリテーションが必要とされる様々なフィールドです。欧米では、女性の職業とされており、日本でもリハビリテーションの需要の拡大に伴い、日常生活を送る上で必要な機能回復に加えて、患者さんが生き生きと生活していけるよう精神面のサポートまで行う役割を担う女性作業療法士は増えていくと思われます。

## 充実した施設

女子大として全国初の本学作業療法学専攻は、同じキャンパスにある子ども支援学科・看護学科・理学療法学専攻とともに地域包括ケアを展開するために、現場に即した教育を行います。

## 取得できる資格

■作業療法士国家試験受験資格 (原則全員取得)



## 臨床実習スケジュール

時期	科目名
1年次後期	地域見学実習
2年次後期	コミュニケーション実習
3年次通年	評価学実習
3年次後期	臨床実習Ⅰ
4年次前期	臨床実習Ⅱ



### 卒業後の活躍分野

■一般企業	労働者のストレスチェックとうつ病対策、生活習慣病および作業環境の改善指導
■医療領域	疾病や外傷によって生じる障害の軽減や機能改善、生活支援
■介護(保険)領域	対象者が充実した在宅生活ができるよう、環境調整や福祉用具の対応
■行政	地域保健活動のために、政策立案や必要に応じ個別相談、訪問指導
■学校	外部専門員(作業療法士として)発達障害を有する児童への就学支援や教育環境等の調整



# 健康科学部 看護学科

いのちの誕生から老いまで、あらゆる年代における人々の健康の保持増進と生活の質を維持する看護の実践力を持つ看護者を育てます。

## 取得できる資格

- 看護師国家試験受験資格 (原則全員取得)
- 助産師国家試験受験資格 (選択)
- 保健師国家試験受験資格 (選択)

女性のしなやかな感性はこの職種に向いています。

看護学科

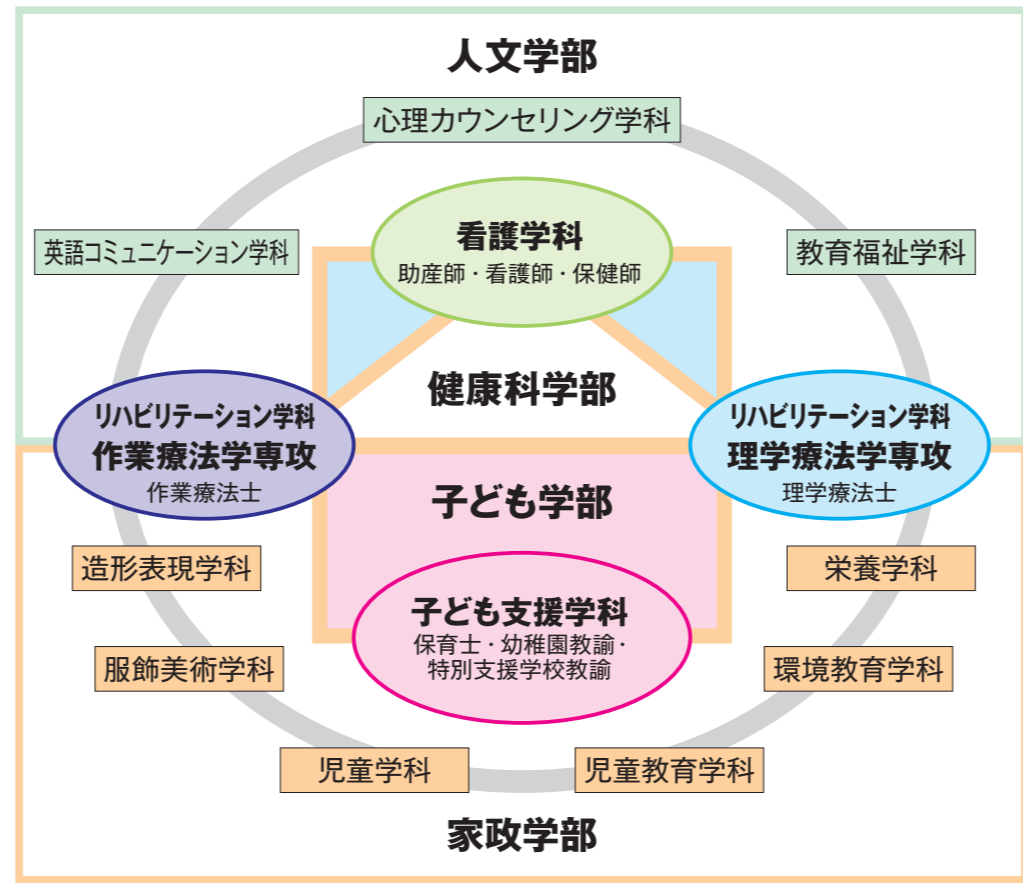
リハビリテーション学科  
作業療法学専攻

リハビリテーション学科  
理学療法学専攻

子ども支援学科

## 東京家政大学

人の一生を支える学びと人の一生に関わる仕事があります



# 子ども学部 子ども支援学科

健常児も、支援を要する子も、一人ひとりの子どもの可能性を広げられる保育者を育てます。

## 取得できる資格

- 保育士 (原則全員取得)
- 幼稚園教諭 1 種 (原則全員取得)
- 社会福祉主事任用資格 (原則全員取得)
- 特別支援学校教諭 1 種 (選択) (知的障害・肢体不自由・病弱)

# 理学療法学専攻 (仮称)

Physical Therapy Course

## からだの基本的な機能回復をサポート

理学療法は、寝返る、起き上がる、座る、立つ、歩くなどの日常生活を行なう上で基本となる動作の改善にかかわります。

対象は、病気でけがで何らかの不自由が残った人、老化で手や足の力が弱くなった高齢者、生まれつきからだを自由に動かせない子どもです。

理学療法では、運動療法・物理療法・日常生活動作訓練により日常生活に必要な基本動作を行なう身体の運動機能の改善を図り、自立した日常生活が送れるようサポートします。

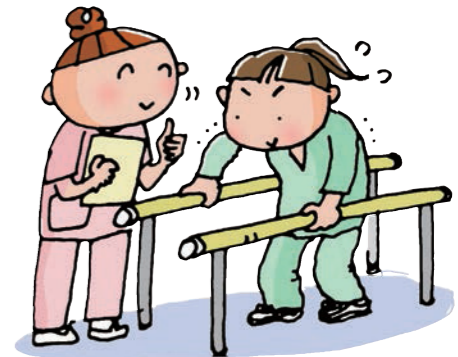
理学療法士の活躍の場は、医療施設をはじめ、老人保健施設や訪問リハビリテーションなどの医療福祉中間施設、肢体不自由児施設や身体障害者福祉センターなどの福祉施設、養護学校や養成校などの教育・研究機関、行政関係、スポーツ・フィットネスなどの保健関係などです。欧米では、女性の職業として定着し、90%以上が女性です。日本でも、今後さまざまなニーズに応じて、職域の拡大とともに女性理学療法士は増えていくと思われます。

## 充実した施設

同じキャンパスにある子ども支援学科・看護学科・作業療法学専攻とともに地域包括ケアを展開するために、現場に即した教育を行います。

## 取得できる資格

■理学療法士国家試験受験資格 (原則全員取得)



## 臨床実習スケジュール

時期	科目名
1年次後期	地域見学実習
2年次後期	地域保健実習
3年次通年	評価学実習
3年次後期	臨床実習Ⅰ
4年次前期	臨床実習Ⅱ



## 履修科目

基礎教養科目	生命倫理、人間関係論、神経科学、ヒューマンロボティクス、医療英会話等
専門基礎科目	人体の構造Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、整形外科学、小児科学、精神医学、チーム医療と多職種連携論、リハビリテーション医学等
専門科目	理学療法学概論、義肢装具学、理学療法評価学Ⅰ・Ⅱ、日常生活活動分析学、運動器理学療法学、呼吸・循環器理学療法学、地域理学療法学等

## 卒業後の活躍分野

■医療機関	リハビリテーション室勤務、脳血管障害、整形外科疾患、小児科疾患、生活習慣病、女性の健康への改善指導
■介護保険領域	虚弱高齢者、健康高齢者、認知症、運動器疾患後遺症への対応
■一般企業	健康・医療・福祉機器開発、生活習慣病対策事業への指導
■行政	地域包括ケア対策、地域保健活動(転倒予防教室等)
■学校	外部支援専門員(理学療法士として)、養護施設等の療育支援
■スポーツ関連領域	競技団体専属理学療法士、障がいスポーツ支援、フィットネスクラブでの指導・支援